

農林水産業競争力アップ技術開発事業



令和6年度新規研究テーマを決定しました

農林水産関係試験研究機関が令和6年度から新たに取り組む研究テーマ8件
(実施期間:令和6~8年度)を決定しました。

○新規研究テーマ予算: 15,685千円

農林水産業競争力アップ技術開発事業では、生産者の所得向上や地域活性化につながる新品種、新技術の開発を加速化するため、平成24年から生産団体をはじめ、広く県民の皆様から研究テーマを募集し、学識経験者等の評価をいただいた課題について研究開発を実施しています。

試験研究機関名 / 研究テーマ		研究のポイント
農業試験場 TEL:0736-64-2300 低コストかつ持続可能なショウガ施肥体系の確立		プラスチックを使用しない緩効性肥料と有機質資材を配合した、安価で価格変動の少ない肥料による施肥体系を確立する。 ・養分吸収特性に適合する配合肥料の開発 ・新肥料を用いた施肥体系の確立と実証
暖地園芸センター TEL:0738-23-4005 土耕での高糖度ミニトマト栽培における日射比例灌水技術の開発 (農業試験場と共同研究)		基準糖度を維持した上での収量向上を実現する日射比例灌水技術を開発する。 ・土壌環境モニタリングと灌水評価方法の確立 ・水分ストレス評価のための生育指標の確立 ・日射比例灌水技術の確立
果樹試験場 TEL:0737-52-4320 サンショウの分割採収、摘心による安定生産技術の開発および台木の検討		分割採収および摘心処理による連年安定生産技術の開発と幼木の早期樹冠拡大に適した台木を検討する。 ・適正な分割採収割合の検討と摘心処理による樹体への影響調査 ・台木の違いによる幼木の生育特性の解明
早生ミカンの着果期間延長技術の開発		早生ミカンの12月収穫、出荷に向けた着果期間延長技術を開発する。 ・着果期間延長による果実品質、樹体栄養の変化の解明 ・クラッキング対策技術、樹勢回復技術の確立
かき・もも研究所 TEL:0736-73-2274 クビアカツヤカミキリの効果的・省力的な防除技術の開発 (うめ研究所と共同研究)		ウメ、モモ、スモモをクビアカツヤカミキリの被害から守るため、効果的、省力的な防除技術を開発する。 ・農薬等による殺卵技術、忌避技術の開発 ・殺成虫剤の耐雨性や残効性向上技術の開発 ・ウメ産地における省力的な防除方法の確立
畜産試験場 TEL:0739-55-2430 ゲノミック育種価とホミニー飼料給与による熊野牛の脂肪質の向上		脂肪質のゲノミック育種価とホミニー飼料(トウモロコシの細粉、胚芽および皮からなる飼料)給与により一価不飽和脂肪酸(MUFA)の高い牛肉の肥育技術を開発する。 ・脂肪質のゲノミック育種価と牛肉MUFAの関連調査 ・脂肪質のゲノミック育種価とホミニー飼料給与の組み合わせによるMUFA等への影響調査

実施試験場名 / 研究テーマ		研究のポイント
<p>養鶏研究所 TEL:0738-54-0144</p> <p>暑さに負けない養鶏経営</p>		<p>採卵鶏における費用対効果の高い暑熱対策技術を開発する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境資材と飼料添加物の基礎データ収集 ・環境資材と飼料添加物の費用対効果の高い組み合わせ検証
<p>水産試験場 TEL:0735-62-0940</p> <p>シロアマダイにおける受精卵安定確保技術の開発ならびに種苗放流に適した魚体サイズおよび海域の検討</p>		<p>受精卵安定確保技術を開発するとともに、種苗放流に適した魚体サイズおよび海域を明らかにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成親魚における採卵時期、飼料および飼育環境が卵質に及ぼす影響の解明 ・逃避能力の発達および稚魚の生息域(水深、底質など)の解明